



自然素材（県産材）で作る心地よい家

●古い町並みとの調和

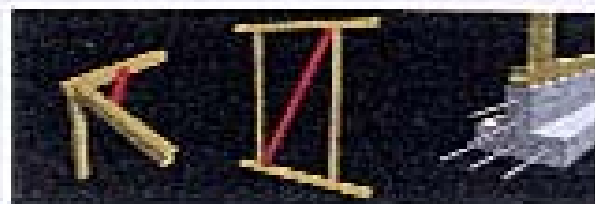
外壁に自然素材（木材）を使用し周辺環境に成田感を与えない外観とします。

●新しい町並みへの対応

隣接する3階建ての建築や由利障壁（高さ2.5m）などに対応するため隣地側の採光をあきらめ、**中庭からの採光を中心**に計画し、同時にプライバシーを確保します。

●構造計画について

床・屋根
床下や屋根の四隅にささえ（大引材）を設け、建物全体のゆがみを防ぎます。

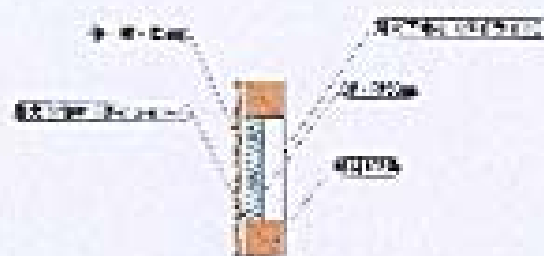


耐力壁
外壁に使用する板を斜めに貼ることによって、筋かいと同じ効果を得ることができます。

基礎と土台
一体の鉄筋コンクリートの布基礎に土台をアンカーボルトでしっかりと固定します。

●外壁構造について

本敷地は準防火地域であり外壁には防火構造が要求されます。外壁に木材を使用するためには**防火認定工法**を使用します。

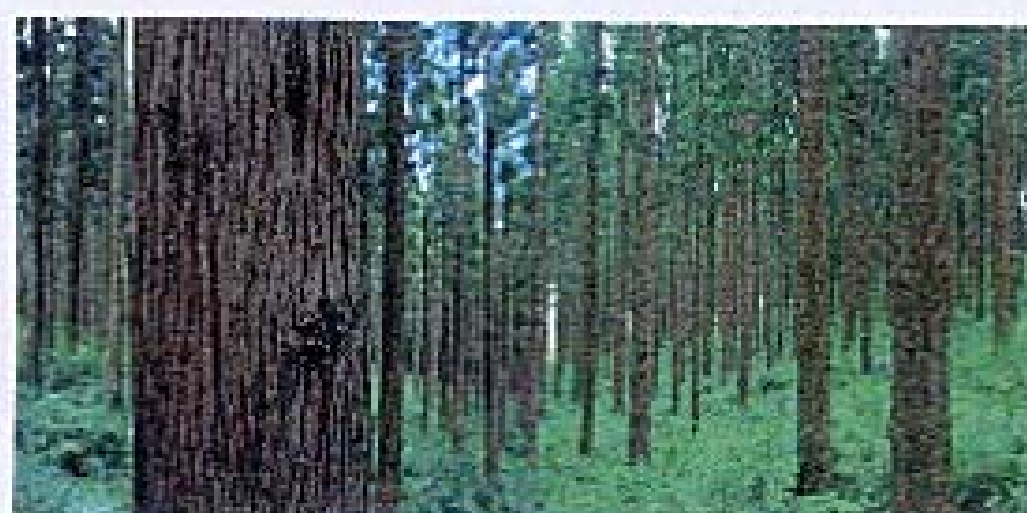


●県産材を使用するメリット

輸入木材は貴重な天然林を伐採しています。輸入を減らし国産人工林から生産される木材を使用することで**地球にも優しい家**となります。
また、木に含まれている成分には抗菌・殺菌作用があり、しかもストレスを抑える「**森林浴効果**」も期待できます。



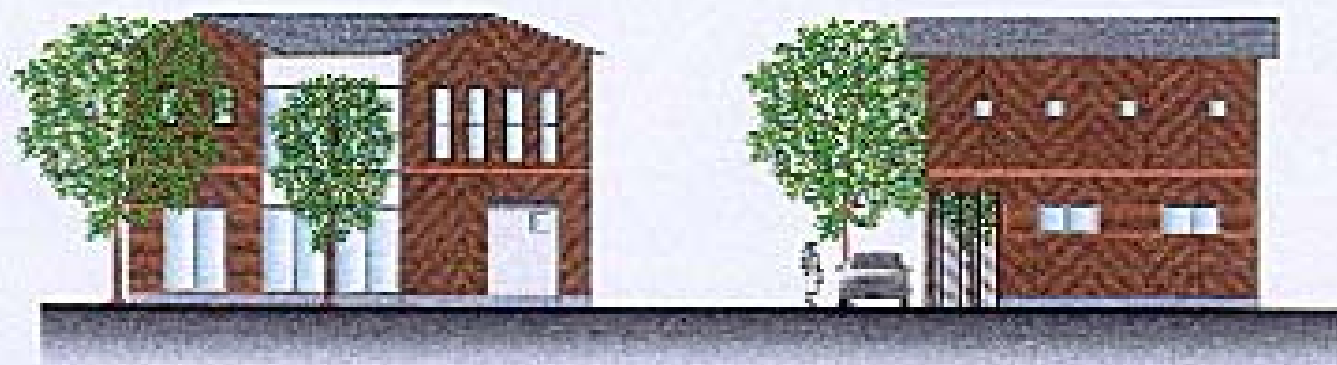
Junzo Yoshimura
Mountain Lodge A at Karuzawa



住・緑・家コンペ事例作成住宅
デザインコンペティション

建築面積	延べ床面積	最高高さ	軒の高さ
73.2808㎡	146.5737㎡	7.300m	6.300m

家族構成は30代後半から40代前半の父母子供2人とし、床面積は経済的に常設の範囲で決定しています。

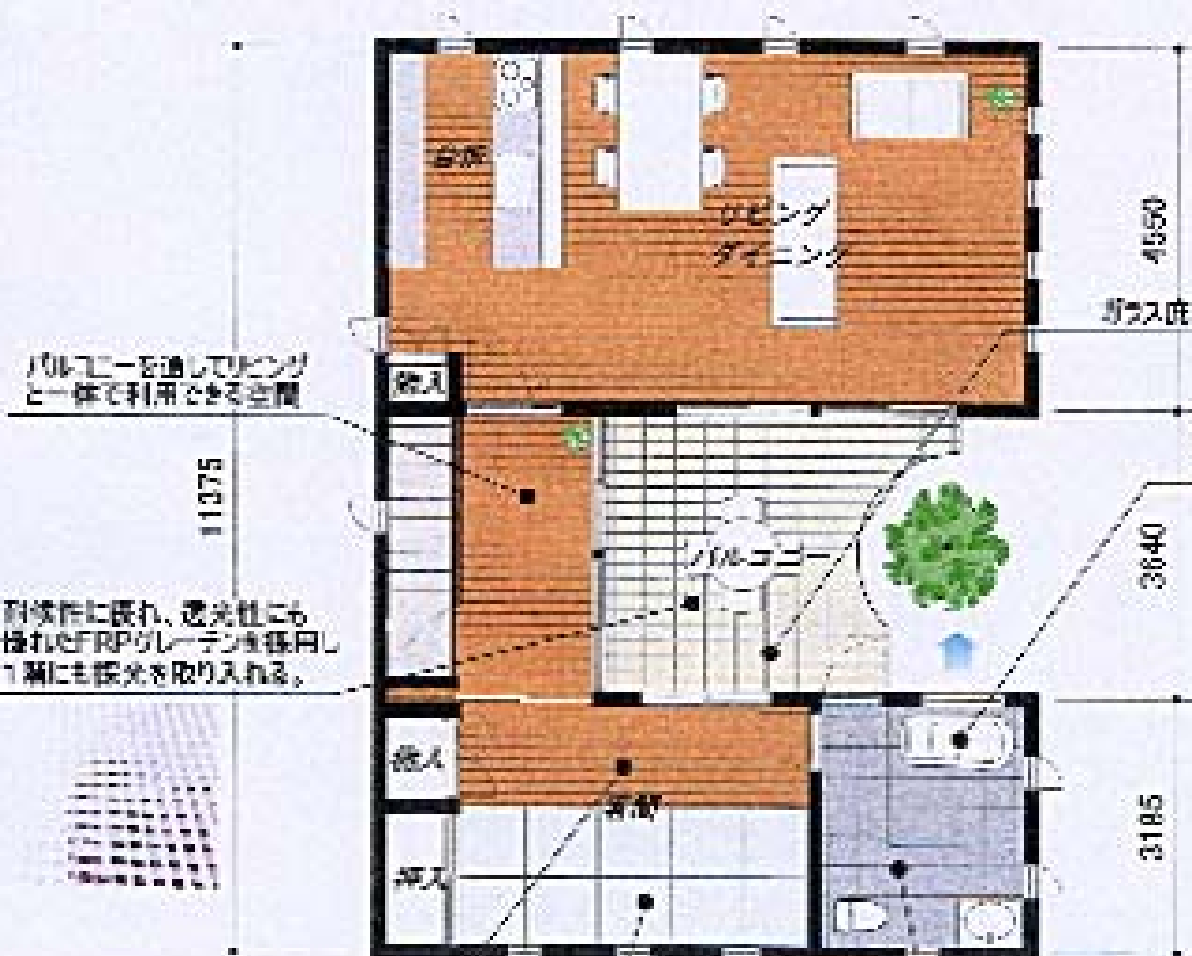


東側立面図

北側立面図 縮尺1/200

子供室は必要最低限に留め、リビングやスタディの空間を魅力的にし、親子間の交流を促進する。

シンボルツリーを中心に配置し、草花と一体に配置することによって、地域や地域の交流に役立つ中庭。



2階平面図

地域住民との交流を促し、あいそ促進する土間空間。

浴槽からシンボルツリーを見渡せる明るい浴室。

バルコニーを通してリビングと一体で利用できる空間

耐候性に優れ、透光性にも優れたFRPグレーディングを採用し1層にも採光を取り入れる。

畳は床下として利用し、風通しには引戸で仕切り、個室として利用可能。

緑樹のタリミによって、客用使用時のフロアリングとの一体感を高める。

洗面・更衣室とトイレ、浴室をガラスの間に切りとし狭く開放的に作りがちな水回りを明るく開放的な空間とする。また、バルコニーから直接出入り可能とし客用使用時に対応した。



配置図兼1階平面図 縮尺1/100

納車からも使用できる坪入れ、車行を無駄なく使用することができ。

唯一外壁に置いた大きい窓には目隠しと夏の日差しを遮る高木を植栽する。